

---

## 平成22年度予算第二特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査 平成22年3月12日

質問者（質問順）

- 1 井上 さくら 委員（無所 夕）
- 2 白井 正子 委員（共産 党）
- 3 渡邊 忠則 委員（自民 党）
- 4 五十嵐 節馬 委員（民主 党）
- 5 加藤 広人 委員（公明 党）
- 6 小幡 正雄 委員（民ヨコ）

行政運営調整局

# 局 別 審 査

1 井 上 さくら 委員（無所ク）

## 1 花月園競輪場跡地利用について

- (1) 県との協議の状況を聞きたい。
- (2) 「検討会」が設置されるとのことだが、その概要はどのようなものか。
- (3) メンバーはどうなっているのか。
- (4) 市としてはどのような姿勢でこれに臨むのか。
- (5) 今後区や選出議員団、さらには周辺住民の声を充分聞くことが求められると思うが、どのようにしていく考えか伺いたい。
- (要望) 花月園競輪場跡地について、民間売却とにならないよう、防災や緑化という点で市民に寄与する、利用可能な計画を策定するよう要望する。

## 2 財産管理等について

- (1) 横浜新都市交通株式会社への支援の概要について、伺いたい。
- (2) これまでの貸付の状況について、伺いたい。
- (3) 貸付金の未償還額73億円は返ってくるのか。
- (4) 債務を保全する立場からどのような対応をしてきたのか。
- (5) 督促、強制執行、担保の提供を求めてきたのか。
- (6) 横浜新都市交通株式会社に、猶予利子25億円を返還する資金はあるのか。
- (7) 出資の財源は何か。
- (8) 予算の説明では、返還される利子が出資の財源であり、一般財源は使わないという説明であった。利子の返還財源に出資金をあてるならば、説明が違うがどうか。
- (9) 改めて、予算の財源と支出の関係を確認すべきと考えるがどうか。
- (10) 既に債権を保全すべき状態にあるにもかかわらず、追加出資や損失補償契約を結ぶとすれば背任にあたるのではないか。
- (11) 今回の増資、損失補償は考え直すべきと考えるがどうか。

- (12) 本市の長期貸付金・出資、出捐残高・有価証券保有額はそれぞれいくらか。
- (13) これらの資産の保全あるいは投資の回収についての考えを伺いたい。

### 3 外郭団体改革について

- (1) 外郭団体経営改革委員会の位置づけ、目的、現在の検討状況はどうか。
- (2) 経営改革委員会での議論を前に、他団体との統合を決めた団体もあるようだが、どのようなことか。
- (3) 統合を決めた具体的な団体名について、伺いたい。
- (4) 統合について常任委員会等へ説明していない理由について、伺いたい。
- (5) 公益認定を受けられないのであれば解散等を検討すべきであるのに、なぜ統合なのか。
- (6) なぜ密室・談合で決めたのか。
- (7) 経営改革委員会への報告は行ったのか。
- (8) 事業内容が問題になった I D E C など、他にも存在意義が問われている団体もあると思うが、解散や廃止を含んだ検討が必要な団体は他に無いのか。
- (9) 人事組織についてはどのように議論してきたか。
- (10) どのような意見が出されたのか。
- (11) 職員の再就職について、報酬限度額を定めるなどの見直しを行ったとのことだが、現状の報酬は、最高額でいくらなのか、また、在任期間では最高何年の例があるか。
- (12) 報酬限度額や在任期間などの今回の見直しに、現状で抵触する市の O B は何人いるのか。
- (13) 2年半もかけている間に今いる人たちは条件が守られるということか。
- (14) 再就職している市 O B は何人で、そのうち二回目以降となる人は何人いるのか。
- (15) 再々就職ということは、人事組織課で求人に対してマッチングをしているということだが、一度外に出た人をもう一回お世話していると、これを公務でやっている根拠は何か。
- (16) あっせんは基本的にやめていくべきと思うがどうか。

(17) 外郭団体全体について、数や規模など縮小していく必要をどう考えているか、今後の基本的方向を伺いたい。

## 2 白井正子委員（共産党）

### 1 土地開発公社について

#### (1) 土地開発公社保有土地の購入

- ア 土地開発公社が旧高島ヤード地区を先行取得した当初の街づくりの方針について、伺いたい。
- イ 行政運営調整局の予算で60街区を買い取る理由について、伺いたい。
- ウ 公社の健全化のために最終的な利用が決まっていない土地をこれまでも購入してきたのか。
- エ 今後、60街区の残りも購入するのか。

#### (2) 土地開発公社の健全化

- ア 20年度末現在の公社保有土地の面積、簿価及び時価、その差額について、伺いたい。
  - イ 土地開発公社経営健全化計画の達成見込みについて、伺いたい。
  - ウ 公社保有土地のうち、旧高島ヤード地区分の面積、簿価及び時価、その差額について、伺いたい。
  - エ 時価と簿価の差額が損失になるが、旧高島ヤード地区保有土地の経営健全化計画期間中の5年間での損失見込総額について、伺いたい。
  - オ 21年度予算で見込んだ旧高島ヤード地区保有土地の民間売却について、伺いたい。
  - カ 22年度予算における旧高島ヤード地区保有土地の民間売却の見込みについて、伺いたい。
  - キ 市民負担の拡大を伴わない公社の健全化についての今後の進め方について、伺いたい。
- (要望) 土地開発公社の経営健全化には横浜市自らの支援が必要とのことだが、それにより結果的に市民につけが回ってくるという認識を踏まえた対応をお願いするとともに、トップセールスを標榜している市長を先頭に、緊張感ある真剣な取組みを要望する。

## 2 長期休業者を代替する職員配置について

- (1) 長期休業者の代替を増やした理由について、伺いたい。
  - (2) 精神疾患を理由とした長期休業者の増加理由について、伺いたい。
  - (3) 精神疾患を理由とした長期休業者が増加している現状に対する認識について、伺いたい。
- (要望) メンタルヘルスの不調をきたす職員の早期発見と適切な対応とともに、働きやすい職場づくりを進めるよう要望する。

### 3 渡 邊 忠 則 委員（自民党）

#### 1 花月園競輪場について

- (1) 神奈川県からの働きかけの内容とその対応について、伺いたい。
- (2) 今後、県が主催する検討会に参画していく上で、どのような方向性を持って臨むのか。
- (要望) 花月園競輪場跡地について、市民全体にとって、将来、最も望ましい土地利用であると評価されるような対応を強く要望する。

#### 2 資産活用基本方針について

- (1) 資産活用基本方針策定の背景について、伺いたい。
- (2) 資産活用基本方針の位置づけについて、伺いたい。
- (3) 資産活用基本方針の特徴について、伺いたい。
- (4) 方針の実現に向けた今後の進め方について、伺いたい。

#### 3 公共工事の中間前金払制度について

- (1) 中間前金払制度の事業者のメリットについて、伺いたい。
- (2) 中間前金払制度が十分活用されるための対応策について、伺いたい。

#### 4 補助事業の市内発注原則について

- (1) 補助事業の市内発注原則の検討状況について、伺いたい。
- (2) 補助事業の市内発注原則を進める上での課題について、伺いたい。
- (3) 補助事業の市内発注原則における検討内容について、伺いたい。
- (4) すべての補助金について例外なく適用するのか。
- (5) 市内事業者優先の明確化について、他都市の状況について、伺いたい。
- (6) 補助金規則の改正を行う趣旨及び規則改正の時期について、伺いたい。

## 5 国勢調査について

- (1) 平成 17 年国勢調査の実施状況を受けて、今回の調査で見直された点について、伺いたい。
- (2) 調査票の記入内容の正確性の確保が必要と考えるが、どのように取り組むのか。
- (3) 今回の調査の変更点など、市としての広報の方法について、伺いたい。

## 6 しごと改革の取組について

- (1) 今回の事業見直し結果の評価について、伺いたい。
- (2) 22年度の事業見直しの点検対象事業について、伺いたい。
- (3) 今年度の「仕事の効率化」の取組内容及びその結果についての考えについて、伺いたい。
- (4) 22年度の内部管理業務の見直し内容について、伺いたい。
- (5) 22年度の事務事業見直しの工程内容について、伺いたい。
- (6) 22年度の「しごと改革」に向けた決意を伺いたい。

#### 4 五十嵐 節 馬 委員（民主党）

##### 1 職員のメンタルヘルス対策について

- (1) 精神疾患を原因とした休職者の5か年間の推移について、伺いたい。
- (2) 本市における精神疾患による休職者の職場復帰に向けた取組の状況について、伺いたい。
- (3) 慣らし出勤の有効性について、伺いたい。
- (4) 今後の職場復帰支援について、伺いたい。

##### 2 職員の働き方の見直しについて

- (1) いきいきと働ける職場づくり
  - ア 職員がいきいきと働ける職場づくりが大事であると考えているが、どうか。
  - イ 職員の働き方を見直す取組が必要であると考えているが、どうか。
- (2) 局名変更
  - ア 4月から4局の名称が変更されることについての市民や職員への周知方法について、伺いたい。
  - イ 局再編成の検討の具体的な進め方について、伺いたい。
- (3) 特別徴収センター・償却資産センターの運営
  - ア 法人市民税及び固定資産税償却資産分の課税事務等の集約化内容について、伺いたい。
  - イ 課税事務等の集約化を行った目的について、伺いたい。
  - ウ 個人住民税の特別徴収及び事業所税の課税事務を集約化したことによる効果について、伺いたい。
  - エ 特別徴収センター及び償却資産センターにおける人材育成の取組内容について、伺いたい。
- (4) 未収債権の滞納整理強化の取組
  - ア 歳入確保強化担当の設置のねらいについて、伺いたい。
  - イ これまでの主な取組について、伺いたい。

ウ 取組による成果について、伺いたい。

エ 今後の取組内容について、伺いたい。

(要望) 市民の信頼と安心を損なうことがないように、未収債権の対策強化の取組は重要であり、今後もより一層の取組を進めるよう要望する。

#### (5) 平成22年国勢調査

ア 前回の平成17年調査を踏まえ、今回の調査では、運用面で調査員の負担軽減がどのように図られているか。

イ 平成22年国勢調査では、本市としてどのような体制で取り組んでいくのか。

### 3 公共工事の入札・契約制度について

(1) 総合評価落札方式の3つのタイプのうち、平均落札率が最も低いものについて、伺いたい。

(2) 総合評価落札方式の特別簡易型について、低価格競争の対策をするべきと考えるが、どうか。

(3) 特別簡易型の入札手続の期間短縮の工夫について、伺いたい。

(4) 公契約条例に対する他都市の率先的な取組に対する所感について、伺いたい。

(5) 労働者の賃金を確保する方策の考えについて、伺いたい。

### 4 市有地における宗教施設の設置状況について

(1) 調査状況、設置状況について、伺いたい。

(2) 具体的にはどのような形態であったか。

(3) 契約等の有無や市有地の用途及び設置状況はどうだったのか。

(4) 今後の対応はどのようにしていくのか。

5 加藤 広人 委員（公明党）

1 市税収入見込みについて

- (1) 22年度の市税収入見込みの概要について、伺いたい。
- (2) 市税全体の減収額について、過去の減収規模との比較について、伺いたい。

2 歳入確保強化の取組について

- (1) 国民健康保険料の未納対策へのこれまでの支援内容について、伺いたい。
- (2) 国民健康保険料における滞納整理の体制と現状について、伺いたい。
- (3) 滞納整理に専念できる保険年金課の体制作りに向けた支援内容について、伺いたい。
- (4) 民間事業者を活用した滞納整理の取組について、伺いたい。

3 外郭団体の経営改革について

- (1) 経営改革委員会における審議の状況について、伺いたい。
- (2) 委員会の議論や提言を改善へ反映する方法について、伺いたい。
- (3) 民間主体の運営への移行に向けた具体的取組の考え方について、伺いたい。

4 職員の人材育成について

- (1) 本市職員に求められる職員像は林市長になっても変わらないのか。

1 規律ある財政運営に向けた取組について

- (1) 24年度から歳入が180億円増収になると推計している理由について、伺いたい。
- (2) 23年度も22年度と同額の市債発行を見込んでいるが、財政運営上の問題に対する考えについて、伺いたい。
- (3) 外郭団体を含めた本市全体の市民1人当たり借入金残高と国民1人当たりの国と地方の長期債務残高について、伺いたい。
- (4) 旧5大市に川崎市を加えた6都市の市債残高の状況と特徴について、伺いたい。
- (5) 市債残高が多いことによる今後の財政運営の課題とその対策について、伺いたい。
- (6) 一般会計の市債発行額を11.1%増加させることが横浜市債の格付けに及ぼす影響について、伺いたい。
- (7) 国債格付けの下方修正の内容について、伺いたい。
- (8) 「国の債務残高は最低でも1,000兆円」と考える場合の国民1人当たりの債務残高と1世帯当たりの債務残高について、伺いたい。
- (9) 財政規律に気を配った中期的な財政計画策定に対する見解について、伺いたい。

2 集中改革プランの取組状況について

- (1) 横浜市の「集中改革プラン」の数値目標と達成状況について、伺いたい。
- (2) 人件費と人件費比率の旧5大市及び川崎市との比較について、伺いたい。

3 効率的・効果的仕事の仕組みづくりについて

- (1) 今年度の課題指摘事業以外の事業の見直しについて、伺いたい。
- (2) 区の事業見直しに対する考え方について、伺いたい。

4 神奈川県の非常勤特別職の報酬の見直しと本市の取組について

(1) 神奈川県の見直し内容について、伺いたい。

(2) 神奈川県の見直し内容と同様の方式で本市行政委員の報酬を日額に見直しした場合の報酬額について、伺いたい。

(3) 本市の見直しの考え方について、伺いたい。